

インマヌエル中目黒キリスト教会

2016年4月24日聖日礼拝

「恵みの時代～神の目、人の目」
マタイの福音書23章1節-12節

河村従彦牧師

聖書朗読 新約聖書

マタイの福音書 23章1節～12節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会)を使用しています

第二版の聖書は 42 ページ

第三版の聖書は 47 ページ

- 1 そのとき、イエスは群衆と弟子たちに話を
して、
- 2 こう言われた。「律法学者、パリサイ人
たちは、モーセの座を占めています。
- 3 ですから、彼らがあなたがたに言うこと
はみな、行い、守りなさい。けれども、
彼らの行いをまねてはいけません。彼ら
は言うことは言うが、実行しないからで
す。
- 4 また、彼らは重い荷をくくって、人の肩
に載せ、自分はそれに指一本さわろうと
はしません。

- 5 彼らのしていることはみな、人に見せるためです。経札の幅を広くしたり、衣のふさを長くしたりするのもそうです。
- 6 また、宴会の上座や会堂の上席が大好きで、
- 7 広場であいさつされたり、人から先生と呼ばれたりすることが好きです。
- 8 しかし、あなたがたは先生と呼ばれてはいけません。あなたがたの教師はただひとりしかなく、あなたがたはみな兄弟だからです。

- 9 あなたがたは地上のだれかを、われらの父と呼んではいけません。あなたがたの父はただひとり、すなわち天にいます父だけだからです。
- 10 また、師と呼ばれてはいけません。あなたがたの師はただひとり、キリストだからです。
- 11 あなたがたのうちが一番偉大な者は、あなたがたに仕える人でなければなりません。
- 12 だれでも、自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされます。

説 教

「恵みの時代～
神の目、人の目」

マタイの福音書

23章1節-12節

河村従彦牧師

. 主の最後の奉仕 ~ マタイの重荷

A 背景

- 1 いろいろな機会に主が語られたこと
- 2 マタイの願い
- 3 「わざわざいだ」のニュアンス

B 主が指摘されたこと

- 1 モーセの座を占めている
- 2 言うことは言うが、実行しない
- 3 人にみせるために生きている
- 4 人に見せるため ~ 偽善
- 5 目が見えない

・クリスチャンの人生観
～ 神さまの目線の前に

A 神さまに見て頂く人生

- 1 全部わかっているという前提で
- 2 神さまの目がある ～ 決定的な違い
- 3 「御前の歩み」

B 他人様の目を気にして生きる現実

. クリスチャンの人生観

~ 神さまの目線の前に

C 神さまの目か、他人様の目か

1 人の目を気にして生きている

→ 揺さぶられる

2 神さまの目を気にして生きている

→ 信仰の土台、強さ

3 神さまの目だけを気にして生きている

→ 危なさ

4 律法主義が手薄になってしまうこと

~ 関係性の感度

. クリスチャンの人生観
~ 仕えモード

A 人への感度

- 1 自分にとって自分の周囲にいる人は？
- 2 行き詰まり
- 3 「仕えモード」

B 「仕えモード」、その実際

- 1 そうであって、そうでないもの
- 2 自分で理解できない領域への敬意
- 3 他者への尊重

. クリスチャンの人生観

~ 仕えモード

C 神さまの私への「仕えモード」

1 私を尊重してくださる神さま

2 神さまの見守り

しめくりに

「仕えモード」...

神さまの目線のぬくもり